

令和4年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
金ヶ崎保育園

I 保育目標

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ●健康で明るい子ども | ●なぜだろうと考え、物事に疑問をもつ子ども |
| ●自分のことは自分でできる子ども | ●他人のことを考え、協力できる子ども |
| ●自然にしたり、愛することのできる子ども | ●豊かな心を持つ子ども |
| ●人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども | |

II 施設運営の重点課題

- | | | |
|------------|----------|---------------------|
| ●保育内容の充実 | ●風の子農園運営 | ●地域社会や社会資源の積極的活用 |
| ●障がい児保育の充実 | ●食育指導の充実 | ●子育て支援活動の推進と地域福祉の向上 |
| ●郷土文化伝承の促進 | ●職員の資質向上 | |

評価の基準

A	充分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III 評価項目と取り組み状況

自己評価項目			評価	取り組み状況
1	保育内容の充実	たくましい子を生み育てるために、乳幼児の健全な発達をめざして保育の内容の充実を図る	A	- 一人ひとりの家庭環境と子どもの発達を理解し保育を展開した。 - 年長児が興味関心を持った「絵本」をテーマとし、年齢発達に応じた活動を年間通し楽しみ、園全体で取り組むことができた。
2	風の子農園運営	地域の方々の協力を得ながら働くことの喜びや、食べ物に対する感謝の気持ちを育てる	B	今年度もコロナウイルス感染防止のため地域との交流を控え、園独自での畑づくりに取り組んだ。畑活動の様子は、ブログや地域への手紙で発信した。また、収穫した野菜を利用し、4、5歳児がクッキングを楽しんだ。カレーライスが地域のおばあちゃんたちに届けるなどの取り組みを行った。
3	地域社会や社会資源の積極的活用	地域力を保育に活かし、子ども達が豊かな生活体験、感動体験ができるように展開し「地域と共に」取り組んでいく	B	コロナ感染防止対策のため、令和4年度も地域との直接交流は出来なかった。しかし、園の子ども達の活動内容の手紙や写真をテーマである「絵本」のように毎月地域に発信したことにより、地域の方から手紙をいただき、年長児が地域の方に返事を書く等し、手紙のやり取りでの地域交流を楽しむことが出来た。

4	障がい児保育の充実	家庭、専門機関、関係機関、との連携を密にしながら保護者との相互理解を図り適切な環境の下で保育の充実を図る	A	・日常の保育・子どもの姿について保護者と話し合いを持ちながら適切な援助ができるようにすすめた。 ・年長児は就学に向けて、保護者との話し合いを積極的に行ない、また、必要に応じて教育委員会や専門の方を入れての話し合いの機会を多く持ち、家庭と小学校、専門機関や関係機関とつなぐなどし、取り組んだ
5	食育指導の充実	「食を営む力」を育むため、保護者、家庭、地域との連携を深め「食べる」ことや「いのち」への関心を高め、子どもの健やかな心と健全育成を促していく	A	・「作品展示会」等で食育に関する展示や、食事の大切さを保護者に発信した。 ・アレルギー児への対応は、かかりつけ医師の指示書、保護者からの依頼書のもと、看護師・栄養士・保育士が連携のもと適切に行った。また、アレルギーに関する職員研修は職員の情報共有の中、知識を高めることにつながった。
6	子育て支援活動の推進と地域福祉の向上	保護者や地域ニーズに応えるサービス提供組織として、保護者や地域の多様なニーズに対応し、乳幼児の発達を尊び、家庭との連携を密にする保育を展開する	B	・金ケ崎町1歳半健診のサポートや、園開放また、金ケ崎町子育て支援センターとの交流は、コロナウイルス感染防止のため実施しなかった。 ・保護者のニーズに応え、病児保育事業(体調不良児対応型)に取り組んだ。
7	郷土文化伝承の推進	郷土文化伝承活動「子ども鹿踊り」を保育に取り入れ、地域の子育て文化を地域に発信していく	A	・令和4年度も、鹿踊り保存会の指導、協力のもと、年長児が「こども鹿踊り」に取り組み、運動会や表現発表会で披露した。
8	職員の資質の向上	職員一人ひとりが、たくましい子を生み育てる保育の実践と研究を進める	A	・保育事業部会、4つの保育園の課題から取り上げた共通の3テーマ「保育の環境」「保護者支援」「エピソード記述」について園内で構成された3グループでのチーム研修に取り組み「たくましい子を生み育てる保育」「特色ある保育」の実践と研究に取り組んだ。